

陽南地区自主防犯パトロール隊（栃木県）

私は、栃木県宇都宮市から来ました陽南地区自主防犯パトロール隊の村上と申します。私は 27 歳から、かれこれ 40 年、防犯活動一筋で、「安全は遠い道のり、一歩踏み込む、心掛け！」という考え方で実践しています。



活動地域の概要

宇都宮市は栃木県の県庁所在地で、人口は 51 万 3,000 人と大規模です。活動地域は宇都宮市の中心部にあるJR宇都宮駅から南に 15 キロほどのところに宇都宮南警察署があり、そのエリアの中に宮本町交番管轄で私たちは防犯活動をさせていただいています。

付近環境は大型スーパー、商店、住宅などが混雑する活気あふれた住宅街、私たちの組織は管内 23 の自治会で構成され、約 6,300 世帯、人口約 1 万 3,000 人です。非常にいい環境に育っております。

団体・活動の概要

団体の結成

結成 平成 17 年

隊員数 35 名



元々は、宮本町交番連絡協議会の活動として、管内のパトロールを行っていましたが、より高度で中身の濃い活動をおこなうため、地区内の自治会への働きかけを行い、平成 17 年 10 月に現在の「陽南地区自主防犯パトロール隊」が結成されました。

団体の結成は平成 17 年、隊員はわずか 35 名でした。この自主防犯パトロール隊の結成につきましては、当初、防犯連絡所という警察署からの委嘱に基づき各種防犯活動を行っていたのですが、活動が活発で無かったことから、それではいかんということでもいろいろと協議をさせていただいて、中身の濃い活動をしようではないかということで各自自治会に呼びかけをしまして、平成 17 年 10 月に陽南地区自主防犯パトロール隊が結成されたということです。

管内のパトロールの状況です。当隊は、小さい組織では

ありますが、月に 20 回ほど巡回パトロールを実施しております。青色回転灯装着車で、当初は 4 台でしたが、毎年増設しまして現在は 10 台で、日中・深夜と巡回させていただいています。

活動時間は、一番早いのが午前 10 時～午後 0 時、午後 2 時～5 時、午後 8 時～10 時、10 時～朝方の 3 時、朝 4 時～6 時というようなことで巡回をしているところです。深夜のパトロールはコンビニエンスストアの方などに非常に喜ばれております。これはやっぱりやってみないとわかり

ませんし、経営者が「本当にご苦労様です」と。私の回る時間は夜 2 時から 4 時、あるいは 5 時、ちょうど皆さんが眠いころで、やる人は眠気や油断が忍び込んでくる時間なんですね。それを防ぐために、この時間帯に当ててやらせていただいているんですが、安心して働けるという生の声が聞こえてきます。

管内パトロール

パトロール数 月 20 回

青色回転灯装着車両 10 台



活動時間



午前 10 時～午後 0 時
午後 2 時～午後 5 時
午後 8 時～午後 10 時
午後 10 時～午前 3 時
午前 4 時～午前 6 時

街頭活動強化日というのがあります。毎月1日は特別街頭強化指導日ということで実施をしております。このときは、警察官同伴で一緒に街頭に立ちまして、管内の銀行、郵便局、公園、学校、コンビニ、スーパー、駐車場、住宅街などを回らせていただいております。広報活動するときには新聞、チラシといったものを手づくりでつくりまして、一般住宅、行政等に配布して、ご覧いただいております。これも非常に効果があります。

街頭活動強化指導日

毎月1日を
特別街頭強化指導日
と定め、管内の
銀行、郵便局、公園、学校、
コンビニ、スーパー、駐車場、住宅街
などの防犯診断を実施しております。






このような広報誌を作成して、地域住民に配布しています




それから、年金支給日の防犯診断を徹底的にやらせていただいております。年金支給日には銀行へ行きまして、「幸の門」というものを防犯ステーションとして活用しております。この防犯ステーション、銀行に来る方は、最初は何かなとおっしゃっていますが「皆さんを守るための『のれん』なんです。幸せになってください。よそへ振り込むならうちのほうへ振り込んでください。」と冗談交じりに PR しております。非常に効果が出ております。これを銀行の ATM の機械の前に設置をして、非常に喜ばれております。

年金支給日防犯診断


年金支給日である偶数月の15日には、管内の金融機関において、防犯診断を行っています。防犯診断の際には、**防犯ステーション「幸の門」**を設置して、振り込み詐欺の撲滅広報を行っています。





年金支給日における金融機関での活動状況です。

活動していることを分かりやすくするため、このような看板を金融機関内に設置しています。



さらに、いま言った「幸の門」ですが、何でこんなことをやるのかといいますと、朝、目を覚まし、東の空を見て、祖先に手を合わせ、今日も一日明るい幸せな日々でありますようにと願うことがあるでしょう。皆さん、そうだと思います。どなたの家庭も、朝から明るく幸せな一歩を踏み出し、子どもは学業に、親は職場の門へと責任ある日々を重ねて家族を支え、地域社会に奉仕し、一日を振り返る日々でしょう。私たち防犯パトロール隊は、未熟ながら、少しでも皆様とともに明るく、安全、安心な街で幸せな生活が送れますように願いを込めて、「ぼうはんステーション」と名付けました。これは非常に効果がありまして、新聞に何度も掲載されております。これはその内容が新聞に掲載されたものです。手づくりうちわなどをお客様に配りまして、安全に帰ってくださいというPR 作戦をしているところです。

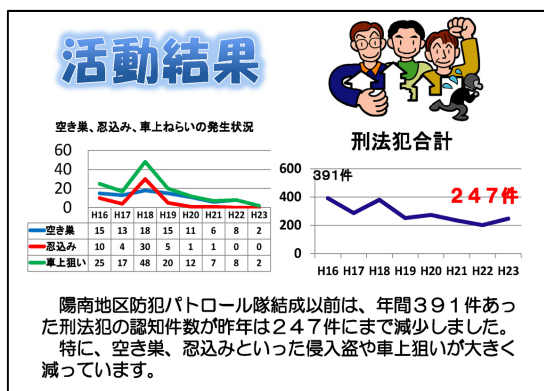
その他の活動といたしましては、独居高齢者の訪問・声かけ活動、さらに福祉施設への寄付が過去4年間で車いす 16 台、現金で約 10 万を2回、宇都宮市から感謝状とか表彰を受けています。



団体の運営方法等

次は運営方法です。皆さんは財政が豊かなようでしたが、私たちの団体は、資金面で自治会、警察、市役所には一切頼っていません。活動資金は、会員協賛費として1人年間 2,000 円を出していただいております。しかし、これでは足りませんので、資源ごみを回収して市役所から報償金をいただき、年間予算約 60 万で活動させていただいているのが現状です。

私たちは、これまでに宇都宮市長から感謝状6回、県警本部から表彰状2回、その他1回という実績があります。



今後の課題

隊員の高齢化により、今後の後継者探しが課題です。

- ◎ 活動を続けていけば、自分の住んでいる地域の犯罪が確実に減ってくる。
- ◎ 活動が地域住民に認められ、積極的に各種活動に協力してくれるようになりました。
- ◎ 管内の警察官とのコミュニケーションが密になり、活動の内容も充実してきました。
- ◎ 「地域を守る」という隊員一人ひとりの責任感が充実してきました。

活動結果と今後の課題

次に、活動結果です。8年間の統計を見ますと、私たちの成果が徐々に上がっていることがわかります。刑法犯認知件数は平成 16 年に 391 件ありましたが、現在は 247 件と大幅に減少しているところです。

今後の課題として、現在、私が会長をさせていただいておりますが、団体構成員の高齢化が深刻で、「今後、どうしよう。」という悩みがないわけではありません。そのことに関して、やはり若い後継者が組織に入って一緒に活動していただくことを望んでいます。

ご清聴ありがとうございました。

質疑応答

●質問 夜のパトロール活動であるとか振り込め詐欺抑止など、大変活発に活動しておられるという印象を受けました。活動に当たって、やはり警察との連携が必要になるのではないかと考えておりますが、どう

いった点に気を遣っておられますか。警察にはこんなことをしてほしいということもあれば、教えていただきたいと思います。

○回答 私たちの活動に対して、警察に非常に神経を遣っていただいております。私たちは、事前に活動計画を警察に提出し、必要なときには警察官の派遣要請をさせていただいてご協力をいただいております。警察官は非常に協力的で、警察からは、「皆様にやっただいているので、この地域では犯罪発生が非常に少なくなっている。」と労いの言葉をたくさんいただいております。警察と連携を図ることで、相互の信頼関係もふかまりました。